

〈抄録〉第28回 日本臨床薬理学会年会 2007年11月28日～12月1日 宇都宮
シンポジウム6：創薬育薬医療スタッフとチームの育成

1. 創薬育薬医療チームと創薬育薬医療スタッフという コンセプトの重要性

中野重行*

1. 創薬と育薬の重要性

医療の最終受益者である患者が医薬品の恩恵をよりよく受けられるようにするためには、次の2つの必須要件がある。(1)有効性と安全性の実証された薬物の存在、(2)薬物の合理的使用方法に関する信頼性の高いエビデンスの存在、である。そのためには、薬を創り(創薬：製造販売までの薬を創る段階)、育てる(育薬：製造販売後の薬を育てる段階)という2つのプロセスが必須である。創薬と育薬のプロセスにおいて信頼性の高いエビデンスを作るために、治験を含む臨床試験が重要であることは周知のことである。

2. 創薬育薬医療と創薬育薬医療チーム

創薬と育薬のプロセスは、多職種の人たちが参画する幅広い領域であるので、自分自身が専門とする領域では非常に真面目に頑張っているにもかかわらず、創薬と育薬の全体像が見えがなくなっている人たちが生まれやすい領域でもある。そこで、創薬と育薬という目標を共有して多職種の人たちの働くこの領域を「創薬育薬医療」として医療の中に位置づけ、創薬育薬医療の領域で働く人たちを「創薬育薬医療スタッフ」という1つのコンセプトでまとめることを提唱したい(Fig.1)。その理由は、創薬と育薬を目指す同じ「創薬育薬医療チーム」のチームプレイヤーとしての自覚が

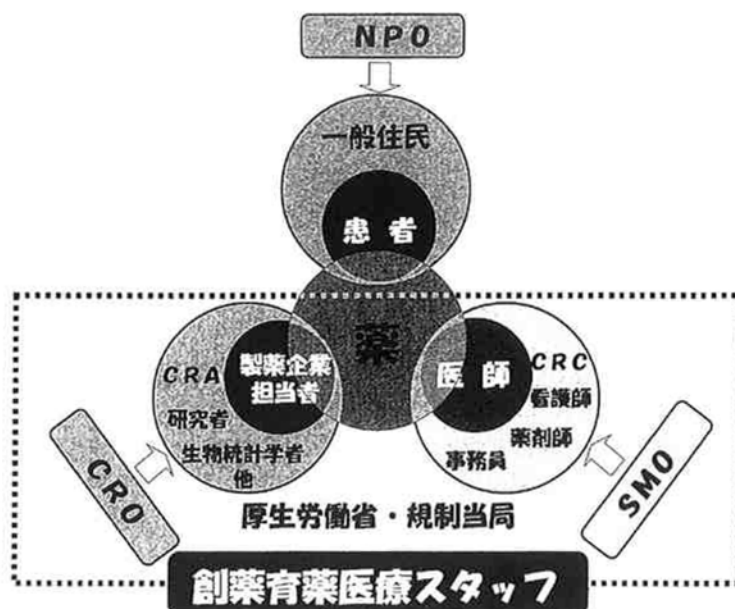


Fig.1 創薬育薬医療スタッフ

* 国際医療福祉大学大学院創薬育薬医療分野、大分大学医学部創薬育薬医学
〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

Table 「創薬育薬医療チーム」の提唱と「創薬育薬医療スタッフ」の育成

1. 創薬と育薬の重要性：医療の中で薬が本来の役割（有効性と安全性）を十分に発揮するためには、よりよき薬を創り（創薬）、育てる（育薬）プロセスが必須である！
2. 「創薬育薬医療チーム」の提唱：創薬と育薬に関わる人たちが情報を共有し、1つの目標に向かってチームを組むことができるようにするために！
3. 「創薬育薬医療スタッフ」の育成：創薬と育薬に関与する人たちが実践している領域を「創薬育薬医療」として1つにくくり、同じ目標を目指してこの領域で働いているチームのプレイヤー（創薬育薬医療スタッフ）として育成

創薬育薬医療スタッフの間に育ち、目指すビジョンを共有し、それに合致した効果的なチームプレーが生まれることを期待したいからである。

また、創薬育薬医療スタッフの人たちが、この領域の情報を共有し1つの目標に向かってチームを組むことができるようにするためには、「創薬育薬医学」という創薬育薬医療の中核となる学問領域を確立することも重要となる（Table, Fig.2）。

3. 創薬育薬医療スタッフの育成

「創薬育薬医療」がわが国の医療の中で健全に育ち、医薬品が本来目的としている「真に患者のために貢献できる」（より有効かつ安全な薬物治療を志向する）ようにするためには、今後わが国内に「臨床試験のこころ」をもった医療者が数多く育ち、また臨床研究者や臨床研究コーディネーター（CRC）をはじめとする多くの創薬育薬医療スタッフが育ち、信頼できるエビデンスを作るための基盤整備を行っていく必要がある。

そのためには、「創造性とコミュニケーション能力」に優れた創薬育薬医療スタッフの育成が重要となる。創造性とコミュニケーション能力に優れた人材の育成には、創薬育薬医療スタッフが一堂に会して交じり合って学習する機会（たとえば、参加体験型学習である本来の意味での「ワークショップ」など）を増やす必要がある。

創薬育薬医療スタッフの育成を目指した大学院のコースとしては、主として医師を対象にした「創薬育薬医学コース」とコメディカルスタッフを対象にした「創薬育薬医療コース」が考えられる。筆者が関与し



Fig. 2 創薬育薬医療と創薬育薬医学の関係

ている大分大学医学部創薬育薬医学講座に設置されている「創薬育薬医学コース」（大学院博士課程）と国際医療福祉大学大学院に設置されている「創薬育薬医療コース」（大学院修士課程と博士課程）が、例としてあげられる。

4. 創薬育薬医療チームのリーダーとして医師に期待される役割

合理的薬物治療を実現するために医師の役割が大きいことは、改めて言及するまでもない。医師には、その社会的使命として創薬育薬医療チームのリーダーとしての役割がある。薬物が処方されている患者個人の病状の変化を注意深く診るだけでなく、個々の患者を診るだけでは分からないこと、つまり、薬物とその病態の治療に本当に役立っているかどうかを多くの患者を対象にして明らかにすること（有効性と安全性の科学的評価）が社会的役割として期待されている。これは集団を対象にする population-based medicine であり、治験を含む臨床試験である。

創薬と育薬のための「創薬育薬医療チーム」のリーダーとして薬物の臨床評価を担うことは、21世紀の医師に課せられた社会的使命の1つである。

文 献

- 1) 中野重行. 創薬育薬医療チームのリーダーとしてこれからの医師に期待される役割, 日本医事新報 2007; No.4326: 1.
- 2) 中野重行. 「創薬育薬医療スタッフ」という新しいコンセプトの提唱と薬剤師の臨床研究への参画の期待, 月刊薬事 2006; 48: 1141-2.